

## あと一押し、二押しで 勝利解決を！



### ■ 日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議 第6回総会

11月9日、ラポール京都でJAL闘争京都共闘の第6回総会が開かれました。最初に主催者を代表してJAL闘争京都共闘代表世話人の脇田滋さんが「不当労働行為について



最高裁で勝利の決定が出た。この取り組みを一層大きく発展させるきっかけになる。」と挨拶したあと、客乗原告団の内田妙子団長が今までの経過について報告しました。内田さんは「不当労働行為事件も最高裁で確定したということで、その追い風を受けて何とかこの年末には早期解決の道筋をつけたい。私たちは統一要求を作った。統一要求の柱は①被解雇者の職場復帰②経験者の再雇用

③解決金④労使関係の正常化と安全運行の4つである。11月4日には会社に早期解決を求める本社前での大宣伝を行った。過去最高の本社前での参加ということで700名以上の方がご参加いただいた。そういう外圧、内圧、職場が求める経験者、争議の解決含めて世論を大きくして、何とか良い報告が来年で出来るようにしたい。引き続きよろしくお願ひします。」と述べました。参加者からは「あと一押し二押しで勝利解決ができる。がんばろう。」との意見がありました。



### ■ 稲盛財団京都賞授賞式抗議宣伝行動

11月10日、稲盛財団主催の京都賞授賞式に対する抗議宣伝行動が、JAL争議団とJAL闘争京都共闘に結集する多くの労働組合や「JAL闘争を支える京都の会」の仲間によって行われました。授賞式会場の国立京都国際会館に向かう地下鉄の出入り口で40分ほど宣伝したところで、JAL争議団の内田団長、鈴木圭子副団長、JAL闘争京都支援共闘・梶川憲世話人などで、稲盛和夫JAL名誉顧問あての争議解決を求める要望書を提出に会場に向かいました。途中で、稲盛財団・京セラの人物が現れ、「私が申し入れを受

け取る」というので、内田団長から「交渉過程で起きた不当労働行為が最高裁で断罪されたのであるから、解雇問題について解決する決断を下すべきであること、当時の会長であった稲盛和夫氏にその責任があること。」を表明し、申し入れ文書を全文読みあげ手渡しました。そして池田和弘京都共闘事務局長（京都総評事務局長）の申し入れ行動報告を受け、この日の宣伝の最後には、鈴木副団長の発声で、稲盛名誉会長に届く大きなシュプレヒコールおこない、抗議宣伝行動を終えました。



## ■ 11月11日、12日も宣伝行動

勝利解決に向けた山場であることから、京都賞受賞者の記念講演の開催に合わせて、11日は国立京都国際会館前と伏見大手筋商店街、12日は国立京都国際会館前と京大時計台下で宣伝行動をおこないました。稲盛名誉顧問地元の伏見商店街では話かけてこられる方もあり、反応は良かったです。



伏見・大手筋商店街

## ■ JAL闘争を支える京都の会・交流会

11月10日夜、JAL争議団・副団長の鈴木圭子さんを招いて、京都市内でJAL闘争を支える京都の会・交流会をおこないました。南会長のあいさつ、鈴木圭子さんの経過報告のあと、懇親会をおこない、JAL闘争のこと、今の政治情勢などについて話合いました。

